

くまモン登場!

平成26年6月7-8日に熊本で開催された日本訪問リハビリテーション協会学術大会に参加してきました。その会場でくまモンが突如現れました!



研修会では、リハビリテーションは夢、希望を失ってはいけないというお話がありました。今号の小林亮平さんもくじけないで生きていこうと話されていました。つぼみも皆さんと一緒に夢を探し、叶えていきたいと思っています。

小林亮平さんのお気に入り



株式会社ハナミズキ

訪問看護ステーションつぼみ

〒002-0854

札幌市北区屯田4条7丁目7-30

TEL: 011-769-0151

FAX: 011-769-0591

E-mail: tsubomi@white-love.co.jp

HP: <http://www.white-love.co.jp/>

ハナミズキ

愛するあなたへ



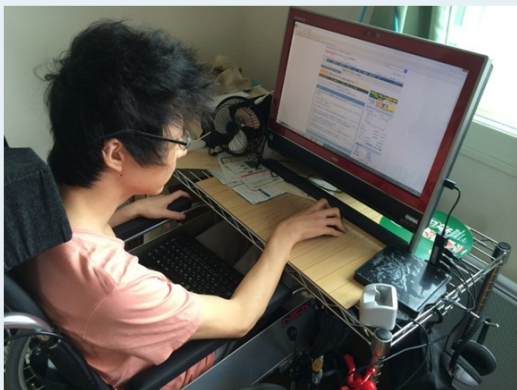
2014年6月



“しっかり生きる” 小林亮平

前号で紹介しました本を出版された小林亮平さんの特集です。

現在は29歳、共同住宅で親元を離れて、一人で生活を送っています。手足を思うように動かすことができないので、電動車いすで映画館や買い物に電車を利用して一人で出かけています。映画を観てはパソコンを使ってブログを書いています。



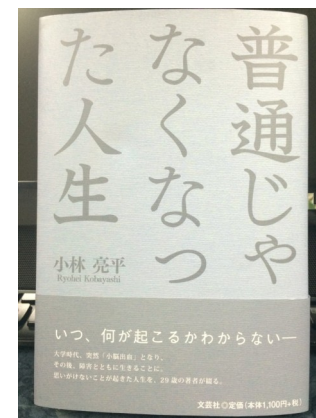
小林さんは、大学進学まではバスケットボールを楽しんだりする皆さんの周りにはいるような普通の学生生活を送っていました。しかし、大学入学の春に脳出血を起こして、



意識をなくして倒れてしまいました。生死を彷徨うような大変な状況でしたが、「倒れた時に助けてくれた友人がいたから今こうして生きていられています。でも、助けてくれた友人は数年後に事故で亡くなってしまい、彼の母親から“息子の分もしっかり生きて”と言われ、生きるということ自分なりに意識するようになりました。」と話されています。このような体験も含めて、小林さんが体験してきた出来事を多くの人に伝えたいと思い、本を出版されました。

平成26年3月15日に出版した“普通じゃなくなった人生”（文芸社）という本の内容は、病気になった当時の入院生活中の想いや葛藤から現在に至るきっかけを与えてくれた友人との出会いについても触れられています。この友人というのは、実話を元にして作られた“抱きしめたい-真実の物語-”という映画の主人公です。

小林さんは、「同じような病気になった方や普通の生活を送っている方、医療関係者など色々な方に読んでもらいたい。」と思っています。



このような病気になって生きる希望を失い、絶望を感じました。周りの色々な人の助けがあって、前向きに生きようと思えるようになって、今があります。必死にリハビリを頑張った時期もあります。車いすであっても一人で外出したり、本も出版できました。

今言えることは、心が折れてはいけません。心が折れるということは、諦めるということ。どんなことがあっても受け入れて、その時できることを一生懸命する。やってみれば何とかかなると思う。その先にまた明るい未来がくると信じています。